

# 世界は計算! されている?

## 数学協働プログラムシンポジウム

私たちの生活には数学があふれており、数学なしでは現代社会は存在しません。にもかかわらず、数学は目に見えないため、そのチカラを実感することについては難しい状況にあります。本シンポジウムでは、数学の魅力や科学・社会の発展への貢献についてお伝えします。御興味のある方は是非、気軽に御参加下さい!

平成26年

3月9日 日

■ 開場 11:30~ ■ 講演 13:00~16:20(予定)  
(数学体験館・錯視・折紙工学・CGの展示が見られます)

■ 場所 日本科学未来館 7階 みらいCANホール

新交通ゆりかもめ「船の科学館駅」下車、徒歩約5分  
「テレコムセンター駅」下車、徒歩約4分  
東京臨海高速鉄道りんかい線「東京テレポート駅」下車、徒歩約15分  
都営バス(「日本科学未来館前」で下車)



### プログラム

#### 講演

- 桜井 進 (サイエンスナビゲーター)
- 村山 斉 (東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構)
- 森 重文 (京都大学数理解析研究所)

#### デモンストレーション

- 秋山 仁 (東京理科大学理数教育研究センター)

#### パネルディスカッション

- 桜井 進 (サイエンスナビゲーター)
- 秋山 仁 (東京理科大学理数教育研究センター)
- 小谷 元子 (東北大学原子分子材料科学高等研究機構)
- 西成 活裕 (東京大学先端科学技術研究センター)
- 春山かおる (東芝)
- 市川学園市川高等学校
- 大阪府立大手前高等学校



入場無料

中高生、大学生など一般向け  
参加は事前申し込み制です。  
以下のURLからお申し込み  
ください。



<http://kuba.jp/~math/>

◀ QRコードもご利用になれます。

問い合わせ先 統計数理研究所数学協働プログラム事務局  
TEL.050-5533-8472 mail coop-math-sec@ism.ac.jp

主催：文部科学省、統計数理研究所

後援：日本数学会、日本応用数理学会、統計関連学会連合、科学技術振興機構、日本数学検定協会

# Profile



東京理科大学理数教育研究センター所長  
理大数学生験館長

秋山 仁

上智大学大学院数学科修了。組合せ幾何学の先駆的研究に従事。  
“Factors & Factorizations of Graphs (Springer)”、  
“A Day's Adventure in Math Wonderland (World Sci.Publ.)”  
など著書多数。1985年に“Graphs & Combinatorics (Springer)”  
を創刊、NHK ラジオ・テレビ講座講師なども務める。ヨーロッパ科学  
アカデミー会員



株式会社東芝 セミコンダクター&ストレージ社  
無線電力伝送技術主幹

春山 かおる

東京工業大学理学部数学科卒、同大総合理工学研究科システム科学専  
攻修了。通信システムの研究開発、Stanford 大学客員研究員、米  
CableLabs 客員技術者 (PHY Architect) 等を経て、現在ワイヤレス給  
電の技術開発に従事。その時代の測定機では測れない、検証できない  
ことを、数学の力を借りて検証・可視化してきた。「数学は右脳！」がモ  
ットー。



東北大学原子分子材料科学高等研究機構  
(WPIAIMR) 機構長

小谷 元子

東京大学理学部数学科卒業、東京都立大学大学院理学研究科博士課程  
終了。2005年に「離散幾何解析学による結晶格子の研究」によって、  
自然科学の分野で、顕著な研究業績を収めた女性科学者に贈られる第  
25回猿橋賞を受賞。日本学術会議連携会員、同数理科学委員会委員、  
同 IMU 分科会委員、文部科学省科学技術・学術審議会委員、日本数  
学会理事、ほか多くの委員会活動を行い、日本の数学振興に貢献。



東京大学国際高等研究所カブリ数物連携  
宇宙研究機構 (WPI kavli IPMU) 機構長

村山 斉

東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。東北大学などを経て、現  
職は東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構・機構長お  
よびカリフォルニア大学バークレー校教授を兼務。西宮湯川記念賞  
(2002)、米物理学会フェロー (2003)、日本学術会議連携会員、米国芸  
術科学アカデミー会員



サイエンスナビゲーター  
株式会社 sakurAi Science Factory 代表取締役

桜井 進

東京工業大学理学部数学科卒、同大学大学院院社会理工学研究科博士  
課程中退。日本初のサイエンスナビゲーターとして、数学の歴史や数学  
者の人間ドラマを通して数学の驚きと感動を伝える講演活動を行っている。  
東京工業大学世界文明センターフェローを経て、現在に至る。  
東京理科大学大学院、日本大学芸術学部、日本映画大学非常勤講師。  
高校数学教科書「数学活用」(啓林館) 著者。  
理数教育研究所 Rimse「算数・数学の自由研究」中央審査委員。



京都大学数理解析研究所所長  
日本学士院会員

森 重文

京都大学大学院理学研究科修士課程修了。京都大学、名古屋大学など  
を経て現職。1990年「3次元代数多様体における極小モデルの存在  
証明」などの功績により、アメリカ数学会コール賞、国際数学者会議フィ  
ルズ賞などを受賞。国際数学連合理事、副総裁などを歴任。



東京大学先端科学技術研究センター教授

西成 活裕

東京大学大学院工学系研究科博士課程修了、その後、山形大学、ケル  
ン大学理論物理学研究所 (ドイツ) などを経て現職。専門は数理物理  
学で、様々な渋滞を分野横断的に研究する「渋滞学」を提唱し、著書「渋  
滞学」(新潮選書)は講談社科学出版賞などを受賞。海外有名学術誌  
に論文を多数発表し、多くのテレビや新聞などのメディアでも活躍して  
いる。